

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念は、職員間で周知されているだけではなく職員一人ひとりが理解し日々利用者に関わる際のように具現化し実践につなげていくのが重要である。利用者・家族、地域へも事業所の理念を表明し、職員間でより掘り下げた話し合いや振り返りを定期的に繰り返す事で理念が実践につながるよう取り組まれることが望まれる。	・利用者・家族、地域へ事業所の理念を表明。 ・職員間でのより掘り下げた話し合いや振り返りをし理念が実践につながるよう取り組む。	・ほほえみ通信を利用し事業所の理念を掲載し周知できるようにする。 ・ホーム会議時に理念が実践につながっているかを利用者のケースに応じて話し合い取り組む。	6ヶ月
2	4	感染症対策の観点から書面での開催となっているため、事業所からの情報発信やため、事業所からの情報提供はなされているが、双方向の意見交換が十分ではない状況が窺える。今後も書面での開催が続くと思われるため、会議前や会議録送付後等に、サービス向上に向けて積極的に意見や要望を聞き取るような取り組みが望まれる。	・意見や要望などを今以上に聞き取れる体制を整える	・現在のメンバーとは別に新たに他施設の方からの意見などを聞きサービスの向上に努める。	3ヶ月
3	10	今後もコロナ禍が続く中で、職員は家族等の意見や要望等を積極的に聴く努力や場面造りを行い、外部者へ表せる機会を設けることが求められる。家族から得られた意見や苦情等をサービスに反映させていく前向きな姿勢が重要であり、具体的な取り組みが望まれる。	・家族からの意見や要望があれば拠点内で共用しサービスに反映していく。	・電話や来園時に意見や要望等あれば聞き取りをしようとしても何気ない会話の中から要望を見つけ反映していく。	3ヶ月
4	26	モニタリングは3～6ヵ月枚毎に行われているが、評価の根拠となる情報が明確ではない状況が窺える。本人・家族の意向ならびに介護計画の支援内容に沿った日々の実施状況を記録に残し、より現状に即した介護計画の作成に活かしていけることに期待したい。	・家族からの意向を今後は積極的にとりこんでいく。	・ケアプラン作成時には家族からの聞き取りを行いケアプランに反映していく。	6ヶ月
5	34	応急手当や初期対応の訓練を全職員が体験・習得することが望まれる。また、夜間等の人手が少ないときの応急手当や連絡、様々なケースを想定した初期対応についての訓練を定期的に行い、実践力を身に着けるよう更なる取り組みに期待したい。	・全職員が応急手当や初期対応を適切におこなえるようにする。	・ホーム会議時に応急手当の訓練や夜間帯での対応の仕方など定期的に行い全職員が適切な対応ができるようになる。	6ヶ月